

3月20日(水) 本年度第32回(通算2952回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『会員卓話』

担当/プログラム委員会

☆メーキャップ

3. 1 8 (釧路北RAC) 田野 竜之介君、若林 新君

☆出席報告【会員総数79名 免除6名 出席計算に用いた会員数79名】

本日の出席率 出席者 35名 メーキャップ 3名 本日の出席率 48.1%
前々回の出席率 出席者 35名 メーキャップ 79名 本日の出席率 144%

☆ニコニコ献金

- ・宮下、星副幹事、今日は期待しています。川村委員長よろしくお願ひします ～小林 裕幸君
- ・川村委員長よろしくお願ひします。副幹事ガンバレ! ～大友 淳君
- ・宮下君、星君、今日の会員卓話、楽しみにしています ～石森 将敬君
- ・四つのテストの唱和ありがとうございます ～菊池 美恵子さん
- ・萩原先輩、お誕生日おめでとうございます ～坂入 信行君
- ・56歳の誕生日です ～萩原 昭博君
- ・本日卓話させていただきます。宜しくお願ひします ～星 耕輔君
- ・バースデーケーキありがとうございました ～前 義幸君

☆《小林会長》☆



皆さん、こんにちは。3月18日彼岸の入りとなり、中日の21日春分の日には、昼と夜の長さがほぼ等しくなるそうです。ここ釧路も少し春めいてまいりました。南からは桜前線の便りが聞こえてくるのも、もうすぐのようです。さて、先般3月10日、当クラブの松原さんが理事長を務められております、社会福祉法人釧路まりも学園さんの卒園式に出席させていただきました。ちょうど、小野寺さんの会長年度より始まりました、国際ロータリー2500地区の児童養護施設への奨学金制度、当クラブがホストクラブとして3名の方へ地区より届きました目録を届けてまいりました。

本来、家・家庭というものは、子供たちが、安心して生活できる場所であるという考え方が当たり前である、という考え方からすると、児童養護施設は何らかの理由があり、当たり前である家・家庭に戻ることが出来ない子供たちが安心して生活出来る場所という事になります。今回卒園式に出席させていただき、自分自身が感じたことは、学園の中で共同生活するにあたり、本当の親よりも親らしく接してくれる職員の皆さん、本当の兄弟よりも兄弟らしく過ごすこと出来る園の子供たちがいて、生活されていることを感じる事が出来ました。卒園された方々が進学・就職されて強い志を持った社会に負けない人になるよう願っております。

《大友幹事》



◆幹事報告

【 お願ひ 】

1. ロータリー財団並びに米山奨学会への、ご寄付をお願ひ致します。

会員卓話

川村プログラム委員長



本日プログラムを担当致します、プログラム委員会の川村です。本日会員卓話となっておりますが、サブタイトルがあります。「俺の話を開け！」となっております。日頃北クラブのために時間を費やしている副幹事、なかなか副幹事がスポットライトを浴びる機会や、発言する機会がないので、宮下会員・星会員に卓話をお願いした次第です。二人の今まででなってきたことや、残り三か月の意気込みなどを話して頂きたいと思います。終了時間は、13時29分丁度を予定しております。

副幹事 宮下 洋介君



先週川村さんからここで話す機会を頂いたその夜から色々と考えていたのですが、結局私のことでしたから、その夜だけ考えて終わってしまいました。

さて、私がこの北クラブに入会してはや2年が経ち、もう少しで3年になろうかと思えます。そこで、副幹事になったきっかけと伺いますか、ターニングポイントは、おとしのこの時期位に当時、親睦委員長だった本間明美さんから、親睦副委員長を仰せつかったことだと思えます。ここで私自身前に前進することが出来ました。1年間手取り足取り厳し過ぎるくらいご指導頂きましたので、成長期の私の脳はかなり萎縮してしまいましたが、大変いい思い出になりました。そして、商業高校の暗い廊下で迫力のあるお顔の大友幹事と殺気立つお顔の小林会長が一直線に向かって来て、そこで副幹事を仰せつかりました。

副幹事の業務と言いましても、皆さまご存知の通りほぼ星君が担っているわけですが、私の業務は、いかに自分も半分やっているぞと言うのを見せることと伺います。実務は星君で、外交的なことは自分と言いますが、よくよく考えるとそれは幹事の仕事であって、一度もそのような仕事をしたことがない事を今頃気づきました。

今後は、残りの三か月弱ですが、副幹事の仕事を悔いのないよう頑張りたいと思います。

副幹事 星 耕輔君



初めに自己紹介をいたします。昭和54年生まれの39歳で、職業は清掃業（ビルメンテナンス）です。平成25年の33歳の時に独立し現在6年目の経営者としてはまだまだ新人です。富樫年度の29年の1月の下期に入会し、スポンサーは野口会員です。その時の新入会員歓迎会で会場をざわつかせ、大友幹事からおしかりを受けました。富樫年度は、親睦家族委員会には入り、最初ネームプレートを渡す時に、自分から積極的に喋れなかったことがありました。

森山年度では、同じく親睦家族委員会に所属しました。下期に入り次年度の副幹事のお声がかかりました。当時の本間委員長には次年度の副幹事として恥ずかしくない行動を取るよう1年を通して鍛え上げられました。なるべく人前で喋ることになれるように毎回各種記念日・ニコニコ献金の発表をさせられました。ほんとうに感謝しております。

今年度小林会長・大友幹事の下で副幹事を仰せつかりましたが、今年度第1回目の例会でマイクを持つ手、声が震えていたこと、心臓の鼓動が高鳴り異常なほど緊張しておりました。

60周年記念事業では郷ひろみさんの講演の司会もつとめさせていただきました。ロータリアンとして断らない精神を持ち二つ返事でお受けしましたが、顔はひきつっていたと思います。大勢の方の前に立ち喋る機会はなかなか大変貴重な経験をさせていただきました。

そして現在残り三か月弱ですが、ようやく副幹事として馴れ、緊張せず司会進行が出来るようになりました。そして今年度始まる前に3つの目標を自分に課しました。

- ①例会出席 100%
- ②大友幹事の手を煩わせないこと

今週のスナップ

